

かくだ

Kakuda city

市議会だより

第176号

平成26年5月1日



ライブ配信やってます

※詳細は14ページ



▲議員会主催による交通安全講習会のおよす（平成26年2月7日「角田市役所301会議室」にて）

■おもな内容■

第371回定例会	2～10
◇本会議の概要	2～3
◇審議結果一覧	3
◇予算審査特別委員会審査から	4
◇一般質問	5～9
◇角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会	10

◆第8回議会報告会	11～13
◆平成25年度行政視察の受け入れ状況	13
◆6月定例会日程（予定）	14
◆議会日誌	14
◆編集後記	14

過去最大規模の新年度予算など 28議案を審議しました

第371回定例会は2月17日に招集され、一般会計当初予算147億5,700万円などを可決しました。主な事業は、「市民センター整備事業24億536万2千円」「賑わいの交流拠点施設整備事業（道の駅）2,672万1千円」「災害時の避難施設向け太陽光発電設備設置事業2億3,743万5千円」などです。そのほか上程された議案は、慎重に審議され、26日間の会期を経て3月14日に閉会しました。

本会議

第1日（2月17日）

会期を3月14日までの26日間と決定した後、平成25年度各種会計補正予算のほか、平成26年度角田市予算案及び施政方針に関する説明がありました。

第2日（2月25日）

初日に提案された23議案に対し、日下七郎議員、八島定雄議員、小島正議員、本田敏昭議員の4名が質疑を行いました。

第3日（2月27日）

上程された議案のうち、平成26年度各種会計予算関係8議案については、「予算審査特別委員会」を設置し、付託しました。

第4日（3月12日）

一般質問が行われ、5名の議員が市政全般について質問を行いました。

第5日（3月13日）

前日に引き続き、5名の議員が一般質問を行いました。（7ページ参照）

第6日（3月14日）

予算審査特別委員会に付託

が日程に追加され、議案に関する説明の後、原案のとおり可決しました。

審議された議案の審議結果は、3ページ表1のとおりで、主な内容は次のとおりです。

主な補正予算の概要

▼平成25年度一般会計(第5号)
歳入歳出予算の総額からそれぞれ7,413万6千円を減額補正するほか、繰越明許費、債務負担行為及び地方債の補正を行うものです。

歳入の主なものは、市税の追加、繰入金の減額で、歳出の主なものは次のとおりです。

- 有害鳥獣駆除捕獲謝礼
- 左関ポンプ改修工事費

▼平成25年度一般会計(第6号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1,851万4千円の追加補正を行うものです。

歳入は、繰入金の追加で、歳出の主なものは、大雪に伴う除融雪業務委託料です。

▼平成25年度一般会計(第7号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億1,304万円を追加補正するほか、繰越明許費及び地方債の補正を行うものです。

▼平成26年度一般会計(第1号)
歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億4,573万9千円の追加補正を行うものです。

歳入の主なものは、国庫支出金で、歳出の主なものは次のとおりです。

- 臨時福祉給付金
- 子育て世帯臨時特例給付金

条例の一部改正

▼特別職の職員で非常勤のもの
の報酬及び費用弁償に関する条例

嘱託員の報酬及び費用弁償を規定するとともに、外国旅行における支度料の廃止及び内国旅行における車賃の額を平成26年4月1日より変更するものです。

○嘱託員の報酬等の改正
(1)道の駅整備推進員(追加)

全確保を求める陳情

角田市江尻字前原50番地
北角田地区学校教育振興会
会長 伊藤善昭
市当局へ要請しました。

▼労働者保護ルール改悪反対を
求める陳情

柴田町船岡中央二丁目9-11-2F
日本労働組合総連合会

意見書の提出

▼労働者保護ルール改悪反対
を求める意見書

国の関係機関へ、次の意見書を提出しました。

陳情の処理

▼北角田中学校区通学路の安

月額150,000円
スポーツ指導員(削除)
月額122,000円
費用弁償の改正
(1)車賃の額 1kmにつき
47円↓37円
(2)支度料を削除

▼角田市保育所設置条例
待機児童の解消を図るため、角田市中島保育所の定員

を平成26年4月1日より増員するものです。

○定員 140人↓170人

▼角田市水道事業の設置等に関する条例
高倉配水池建設に係る事業変更の認可を受けるにあたり、目標年の給水人口及び1日最大給水量について変更する必要があるため、所要の改

正を行うものです。

○経営の基本に関する事項
(1)給水人口
41,640人↓27,510人
(2)1日最大給水量
25,910m³↓12,220m³

表1

第371回定例会審議結果一覧

議員数は17名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は16名。(○…賛成、×…反対)

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブ みんしん	政友会	市民クラブ	日本共産党 角田市議団	無会派
市長提出議案							
平成25年度 一般会計補正予算(第5号) 国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号) 後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号) 介護保険特別会計補正予算(第4号) 公共下水道事業特別会計補正予算(第4号) 水道事業会計補正予算(第3号)	2月27日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
一般会計補正予算(第6号)	2月27日	可決	○	○	○	○	○
一般会計補正予算(第7号) 介護保険特別会計補正予算(第5号)	3月14日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
平成26年度 東根財産区特別会計予算 一般会計予算 国民健康保険事業特別会計予算 後期高齢者医療特別会計予算 介護保険特別会計予算 公共下水道事業特別会計予算 農業集落排水事業特別会計予算 水道事業会計予算	3月14日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
一般会計補正予算(第1号)	3月14日	可決 (賛成14 反対2)	○	○	○	×	○
条例 特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例等の一部改正について 職員の給与に関する条例の一部改正について 角田市水道事業の設置等に関する条例の一部改正について 特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について 角田市保育所設置条例の一部改正について	2月27日 2月27日 2月27日 2月27日	可決 可決 可決 可決 (賛成14 反対2)	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ×	○ ○ ○ ○
その他 財産の取得について(塩化カリ肥料) 宮城県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村職員退職手当組合規約の変更について 宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等認定委員会共同設置規約の変更について 宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会を共同で設置する地方公共団体の数の減少及び宮城県市町村等非常勤職員公務災害補償等審査会共同設置規約の変更について	2月27日	可決	○	○	○	○	○
議員提出議案							
意見書 労働者保護ルール改悪反対を求める意見書の提出について	3月14日	可決	○	○	○	○	○

各会派の構成メンバー

- クラブみんしん (谷津睦夫、今野林一郎、細川健也、伊藤善昭、柄目孝治)
- 政友会 (渡邊誠、齋藤正一郎、小湊毅)
- 市民クラブ (本田敏昭、小島正、湯村勇)
- 日本共産党角田市議団 (日下七郎、八島定雄)
- 無会派 (会派に属さない議員) 馬場道晴、相澤邦戸、高橋力雄副議長、佐藤正友議長



一般質問の答弁に関するについて
(職員の再任用について)

日下七郎 議員

議員▼第370回定例会で、市長は「再任用短時間勤務職員は非常勤職員なので、雇用と年金の接続を図る観点から、その異動に当たっては常勤職員と同様で、学校給食センター所長を再任用短時間勤務職員から常勤へ切り換える発令辞令では勤務時間の変更になります

が、この発令は常勤職員の配置換えに該当するものです。」との答弁です。ここで、平成25年10月1日付けの辞令書の発令事項は「勤務時間は週38時間45分とする。」のみで、他の記載がありません。よって、再任用短時間勤務職員の時間外勤務と考えますがいかがですか。

市長▼10月1日の発令内容は「勤務時間は週38時間45分とする。」とし、この時間は常勤の職員と同じ1週間の勤務時間です。勤務時間のみが発令とした理由は、任命権者、職階、勤務場所等の変更がなく、引き続き任用されるのであれば、勤務時間の変更があっても身分等を再度発令するには及ばない考えからです。議員ご指摘の再任用短時間職員としての時間外勤務には当たりません。

議員▼再任用短時間勤務職員の給料に関して、計算すると給料表の給料月額80%で、給料は10円単位になっていると思いますがどうですか。

議員▼その通りです。常勤の再任用職員は、職員の給与に関する

条例第5条第11項の給料の再任用職員の欄に掲げる給料月額を支給することになっております。しかし、その辞令を発令していません。

教育次長▼議員ご指摘のとおり、10月1日の発令では勤務時間の変更のみでした。改めて10月1日に遡及し、「行政職給料表6級を給する。」との発令をし、給与は10月分から満額を支給してあります。今後、このように改めて発令することのないよう、十分注意をいたします。

議員▼職員の給与に関する条例、人事記録に関する規則の規定に違反していたことを認めますか。

市長▼辞令の内容に問題はありませんが、実際には6級の給与を支給しております。今後、ミスのないよう努めます。

【以下議員その他の質問】

- 消費税等の課税の対象となる使用料等に消費税等の転嫁の中止について
- 公共施設等の総合的な管理による老朽化対策等の推進について
- 特別土地保有税猶予解除の土地の今後の開発について

議員▼まちづくりは市民が主体となるべきですが、計画をどのように共有し、実行していくかについてお聞きします。

市長▼市民と行政が協働で進めていくことが必要で、それぞれの審議機関で議論したり、市政懇談会等で話題提供をし、意見をいただいております。また、「(仮称)まちづくり基本条例」の制定に向け、市民で構成される策定委員会を組織し、白紙の状態から組み立てていくと考えています。

議員▼今まで行政が計画したものを市民に協力要請していましたが、本来は市民が主体的に活動し、行政はこれを支え、市民力を高揚させていくことが必要だと思いませんか？

市長▼政策を立案実行するためには、市民の力を高めるだけでなく行政力を高めることも必要で、

その両者の歯車がかみ合って前進することが大切です。

議員▼市民が自分のまちを深く理解し、誇りを持つために市の歴史・観光・産業等を学べるシステムを構築して欲しいと思いますが、どう考えを伺います。

市長▼現在、出前講座事業を実施しておりますが、歴史等の出前講座については、まだ、環境が整っていませんので、今後、充実させるよう検討します。なお、現在、各地区で自主的に活動をしている方々には、引き続き財政的・人的支援を行ってまいります。また、コスモハウスや郷土資料館等をもっと活用していただけるようにすることが重要と考えています。

議員▼市民が「まち」について得た知識を対外的に発信するため、市のイベントや事業のガイド役として活動してもらいた

いと思いますが考えを伺います。

市長▼将来的には、ガイドができる人材を育成したいと思っております。動機づけとして、3月に行った「かくだ牟宇姫ひなまつり」において展示物の説明ができるよう研修会を行いました。

議員▼研修会は広く一般の方々にも呼びかけていただき、観光開発伝事業と結び付けて雇用創出をしていくことはできないのですか。また、ボランティアに対し、長続きできるように実費の支援をしていただきたいのですが、どう考えですか。

市長▼本市の場合は、観光ガイドを業とするのは難しいですが、角田市の観光ガイドとして報酬をお渡しするのではなく、ボランティアの方々には、業務費の支弁をしていくように考えています。



市民と共につくり上げるまちづくりについて

相澤邦戸 議員

表2 平成26年度 各種会計予算総括表 (単位：千円、%)

会計区分	平成26年度		平成25年度		比較		
	金額	金額	増減額	増減率			
一般会計	14,757,000	12,236,200	2,520,800	20.6			
特別会計	国民健康保険事業	3,654,757	3,603,235	51,522	1.4		
	後期高齢者医療	339,642	313,860	25,782	8.2		
	介護保険	2,928,033	2,714,649	213,384	7.9		
	公共下水道事業	1,472,889	1,442,640	30,249	2.1		
	農業集落排水事業	111,329	99,796	11,533	11.6		
	東根財産区	608	608	0	0.0		
計	8,507,258	8,174,788	332,470	4.1			
企業会計	水道事業	1,095,990	1,032,337	63,653	6.2		
	収益的支出	1,095,990	1,032,337	63,653	6.2		
	資本的支出	565,891	300,725	265,166	88.2		
計	1,661,881	1,333,062	328,819	24.7			
合計	24,926,139	21,744,050	3,182,089	14.6			

予算審査特別委員会審査から

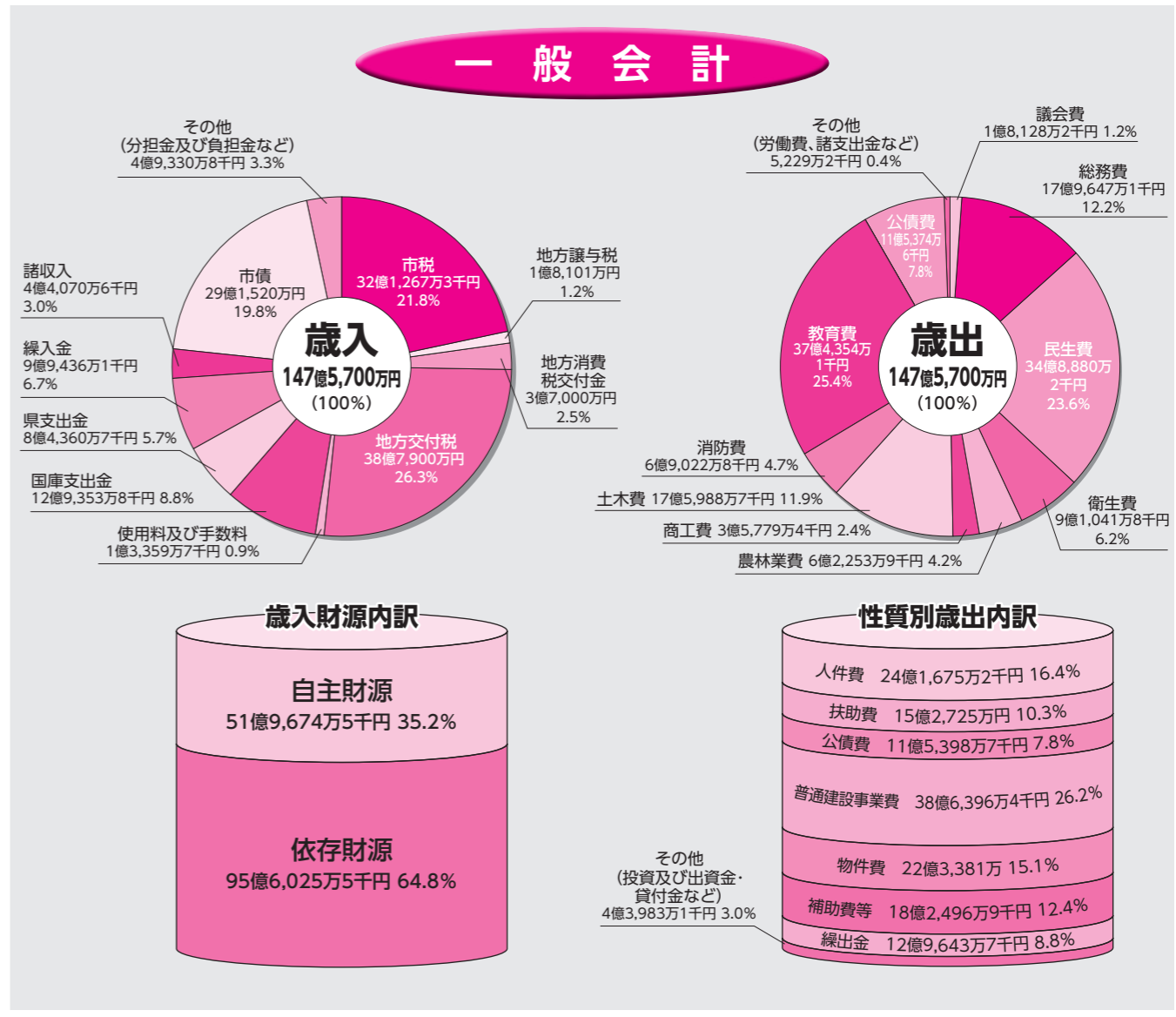
2月25日に設置された予算審査特別委員会(齋藤正一郎委員長、小島正副委員長)は、3月10日までの14日間にわたり平成26年度角田市一般会計、各種特別会計及び水道事業会計予算の審査を行いました。

特別委員会初日は、正副委員長の互選を行いました。

2月27日は一般会計の趣旨説明と質疑が行われ、3月3日には各種特別会計及び水道事業会計の趣旨説明、質疑を行った後、委員会に総務財政分科会、教育厚生分科会及び産業建設分科会を設置し、各分科会において4日と5日に審査を行いました。

10日に、各分科会会長から審査結果の報告があり、表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

各種会計歳入歳出予算は、表2のとおりです。





消防団支援法の成立に伴う消防団の処遇改善について

馬場道晴 議員

議員▼平成25年12月に消防団を支援する地域防災力充実強化法(消防団支援法)が成立し施行されました。それに伴い消防団のあり方を見直す必要...

手当の支給について必要な措置を講ずるよう求められています。平成24年度の交付税単価では、団員報酬が3万6,500円、出場手当が7,000円、出場手当が支給実績がこの金額を下回る状況で報酬手当の低い市町村は積極的に単価を引き上げるよう要請...

3万6千円も下回っている状況です。報酬等増額した場合でもそれに見合った交付税が増えるようにならなければならず、構造的な仕組みがそうならないままです。普通交付税の標準団体行政規模を10万人としており、消防団員数は563人と見積もられています。本市の人口は3万1千人であり、団員数にすると230人しか交付税は算定されていないこととなります。本市の実団員670人で、この団員数の3分の1の団員数でしか交付税は算定されていきません。...

議員▼有料道路を利用する頻度の高い車である大型バスに、今後ETCを取りつけていく考えがあるか伺います。

議員▼「まちづくり懇談会」や「議会報告会」で、市民から、生徒の学力や教育環境を懸念し、金津中学校の統合についての意見が出ています。その趣旨は十分理解できますが「金津中学校も有り続けて欲しい」とことから質問します。

議員▼「まちづくり懇談会」や「議会報告会」で、市民から、生徒の学力や教育環境を懸念し、金津中学校の統合についての意見が出ています。その趣旨は十分理解できますが「金津中学校も有り続けて欲しい」とことから質問します。

公用車のETC取り付けについて

本田敏昭 議員



議員▼「まちづくり懇談会」や「議会報告会」で、市民から、生徒の学力や教育環境を懸念し、金津中学校の統合についての意見が出ています。その趣旨は十分理解できますが「金津中学校も有り続けて欲しい」とことから質問します。

議員▼「まちづくり懇談会」や「議会報告会」で、市民から、生徒の学力や教育環境を懸念し、金津中学校の統合についての意見が出ています。その趣旨は十分理解できますが「金津中学校も有り続けて欲しい」とことから質問します。

市長及び副市長の政治姿勢について

湯村 勇 議員



議員▼市長と副市長は、市職員経験者の同級生であり、切磋琢磨が見えないという市民の声を耳にします。市長職は対外的な対応が多く、内部のきめ細かな点を目を配ることが難しいため、副市長が力になることが必要です。市長と副市長は常に連携を図り、職員の指

導監督を發揮すべきだと思えますが、市長の忌憚のない考えを伺います。市長▼市長、副市長共々、精進が足りないというところで、市民の皆様のご信頼を取り戻せるよう今後一層努力してまいります。首長と副首長の組み合わせは、副首長が首長の補佐役としてふさわしいかが重要で、前職が役所か民間かということも考える必要があるかと思っております。

市の中心地にある広大な土地なので、何らかに活用できないか等、数多くの市民の声が聞こえてきます。市長は早急に跡地活用に向けた行動・実現に努めるべきです。

議員▼宮城県所有の財産の旧角田女子高校跡地は、活用について

議員▼宮城県所有の財産の旧角田女子高校跡地は、活用について



国民健康保険税の課税客体について

小島 正 議員

議員▼国民健康保険税は、応能割(所得割・資産割)と応益割(均等割・平等割)がありますが、税率は市町村ごとに異なり、資産割がない自治体もあり、資産割がない自治体もありません。さらには市民が市外に資産を所有している場合、その資産に対しては資産割を課税されません。資産割を見直す考えはありますか。

議員▼「まちづくり懇談会」や「議会報告会」で、市民から、生徒の学力や教育環境を懸念し、金津中学校の統合についての意見が出ています。その趣旨は十分理解できますが「金津中学校も有り続けて欲しい」とことから質問します。

議員▼「まちづくり懇談会」や「議会報告会」で、市民から、生徒の学力や教育環境を懸念し、金津中学校の統合についての意見が出ています。その趣旨は十分理解できますが「金津中学校も有り続けて欲しい」とことから質問します。



収入の少ない国民健康保険加入者への対策について

八島定雄 議員

放射能汚染から命と健康を守る施策について

議員▼平成26年度国保の低所得者に対する国の財政支援の強化策について、角田市はどの様になると考えていますか。

市長▼この強化策により、均等割保険料軽減対象被保険者が増えて、9,104人から1万409人になります。平等割保険料軽減対象世帯は、5,617世帯から6,313世帯に拡大します。その軽減額は、現行の軽減額1億462万円に対し、拡充後の軽減額は1億1,986万9,000円となります。これにより、国・県が負担する国民健康保険基金安定負担金が増額交付されることから、一般会計からの繰入金も増額されます。低所得の被保険者が多い本市においては、これらの被保険者の国民健康保険料納率が改善されると考えられますし、財政基盤がさらに強化されるものと見込んでおります。

「仮称」角田市手話条例の制定について

議員▼県内で最初となる（仮称）角田市手話条例の制定について、市長の考えを伺います。

市長▼制定するとすればやはり県段階での制定が望ましいと思います。条例の制定によって体制を推進していくというよりは、まず手話は言葉であるということの啓発や、手話を使いやすい環境づくりを検討してまいります。

例えば市の窓口では手話ができる職員を配置することで、その職員の手話の養成をしていくことが大事だと思います。スマートフォンあるいはタブレット端末を利用した遠隔通訳サービスなど、意思疎通のための手段としての手話、これを使用できる環境を進めていく必要があると考えております。

議員▼市内には、東日本大震災により被災した地域の復旧工事に使用される土砂や山砂利の民間探取場があり、多くの大型ダンプカーの通行による市道の損傷が目立ちます。国の復興予算で整備できないかと質問したところ、市長は国に対して震災復興財源の全額措置を求める要望をし、復興財源による市道の補修工事が始まりました。



広域的な「有害鳥獣（イノシシ）の対策」について

谷津睦夫 議員

議員▼仙南地区の駆除頭数について伺います。

市長▼平成25年度の駆除頭数は、角田市1,000頭、白石市700頭、丸森町500頭、白河市500頭の見込みです。平成26年度の駆除目標頭数は、角田市800頭、丸森町2,000頭、白石市700頭、その他の市町は20頭、250頭です。

議員▼仙南広域の4者会談でどのような発言をされましたか。

市長▼イノシシの個体数を減らす対策の必要性と捕獲・駆除したイノシシは積極的に焼却処分すべきであり、大型のものは解体して焼却処分場を持ち込むことが望ましいと述べました。

議員▼駆除隊員の負担軽減、処理の迅速化を図るため、イノシシを解体せずに焼却できる施設を整備することを仙南広域理事会で検討しましたか。

市長▼検討はしていませんが、理事会で問題を共有し、有害鳥獣焼却施設を仙南地域1カ所に整備するのが良いと思います。ただ、焼却施設へ駆除した有害鳥獣を搬入するのは、各市町の責任でやるべきと考えています。

議員▼通学路でのイノシシの出没や人的被害を危惧する声が多く聞かれる中、子どもたちの安心・安全を担保する対策はあるか伺います。

市長▼危険防止策として、広報等で危険防止・危険回避の方法を周知すること、食物残渣を置かないこと、通学路の草刈りを行いイノシシが身を潜める環境を地域ぐるみでなくすことに加え、有害鳥獣駆除隊による駆除活動をしたいと考えております。

議員▼有害鳥獣の目撃情報が寄せられたときは、即座に事実確認と同時進行で小・中学校に連絡をとり、児童生徒への注意喚起を図ると共に、保護者へ情報提供を行っております。

議員▼平成29年4月に供用開始予定の（仮称）仙南グリーンセンターでの動物処理方法を伺います。

市長▼小動物が対象で、焼却できるサイズは長さが140cm、高さ40cm、幅70cm以内で、イノシシであれば約50kg以下のもので、大型のイノシシは、解体して搬入するこ



角田市のトイレ事情について

小湊 毅 議員

議員▼角田市のトイレに対する考えを伺います。

市長▼人間の生活の基本中の基本でありますから必要となる場所に設置し、清潔に管理することが重要だと思っております。

議員▼岡駅前前のトイレは他のトイレはどのようになっていますか。

市長▼岡駅前前のトイレ以外の改修等の予定は現在ありません。水洗化・障がい者用トイレが設置されていない箇所や、老朽化している箇所も多いです。交流人口100万人を目指す上でも、市内の公共トイレの改修などを優先進めることへの重要性は認識しています。今後、整備方法を検討し、計画的に整備をしたいと思っております。

議員▼トイレを常に清潔に保つためには、近隣にお住まいの方の協力が不可欠だと思っております。現在の状況を伺います。



▲補修が完了した市道平口金影沢線の区間



国の復興財源による市道の補修工事について

伊藤善昭 議員

議員▼市内には、東日本大震災により被災した地域の復旧工事に使用される土砂や山砂利の民間探取場があり、多くの大型ダンプカーの通行による市道の損傷が目立ちます。国の復興予算で整備できないかと質問したところ、市長は国に対して震災復興財源の全額措置を求める要望をし、復興財源による市道の補修工事が始まりました。

市長▼本年9月までに工事完了予定です。

議員▼再び道路が破損した場合、補修してもらえますか。

～市民に開かれた議会を目指して～

第8回議会報告会に230人

角田市議会では、市民の皆様の日頃の議会活動を身近に感じていただくため、1月20日から2月7日まで、市内15会場に出向き開催しました。(表3参照)

はじめに「第7回議会報告会の意見・要望に対する検討結果について」の報告を行い、その後、報告に対する質疑応答や地域の課題について意見交換をしました。

第8回議会報告会開催状況

表3

開催日時	会場	対象地区	参加者数(人)		
			男性	女性	合計
1月20日(月) 午後7時00分	藤尾自治センター	藤尾地区	16	6	22
1月21日(火) 午後7時00分	小田自治センター	小田地区	16	0	16
1月22日(水) 午後7時00分	野田生活センター	角田地区(野田)	8	1	9
1月23日(木) 午後7時00分	東根自治センター	東根地区	26	8	34
1月24日(金) 午後7時00分	南町公民館	角田地区(西南町、東南町、立町、中島、北町、谷地町)	13	0	13
1月27日(月) 午後7時00分	桜自治センター	桜地区	17	2	19
1月28日(火) 午後6時30分	西根自治センター	西根地区	20	1	21
1月28日(火) 午後7時00分	北郷自治センター	北郷地区	18	1	19
1月29日(水) 午後6時30分	枝野自治センター	枝野地区	18	2	20
1月29日(水) 午後7時00分	角田自治センター	角田地区(東町、本町、東仲町、西仲町、天神町)	6	0	6
1月30日(木) 午後7時00分	東田町公民館	角田地区(西田町、東田町、横田町)	5	0	5
1月31日(金) 午後7時00分	中島下区民会館	角田地区(新中島南、新中島北、中島下、高畑南)	11	0	11
2月5日(水) 午後6時30分	横倉自治センター	横倉地区	10	0	10
2月6日(木) 午後6時30分	寺前コミュニティセンター	角田地区(新丁、新丁東、新丁西、寺前)	15	2	17
2月7日(金) 午後6時30分	老ヶ崎集会所	角田地区(老ヶ崎、豊室、古豊室)	6	2	8
合 計			205	25	230

角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会

－改善策の最終報告をまとめ市長に提出しました－

角田市議会におきましては、平成23年12月22日に、角田市農業の館の管理運営に関する調査特別委員会を設置し、角田市農業の館の管理運営に関し調査・検討をいたしました。

このたび、平成26年2月25日に9回目の特別委員会を開催し、次のとおり「角田市農業の館の改善に向けての提言(最終報告)」を取りまとめ、改善の措置を講じられるよう市長に提出しました。

なお、今後とも角田市農業の館の実績や運営状況等を見ながら、設置目的に沿った施設となっているか、所管の産業建設常任委員会において継続して調査してまいります。

提言内容

項目1 原料堆肥の確保について

提言

- ①市、指定管理者、利用組合による会議を定期的で開催し、計画通りの搬入が出来るよう努めるとともに、利用組合においては、組合員一人ひとりが地域資源の循環に対する強い自覚を持ち、意識の共有・向上を發揮できる組織にすること。また、組合員の加入促進を積極的に行っていくとともに、稼働率の向上を図るため、広く畜産農家の協力が得られる環境を整えること。
- ②堆肥づくりに精通する職員を置く方向で今後検討すること。

項目2 原料堆肥の水分調整について

提言

- ①水分調整70%以下で搬入するよう徹底をすること。
- ②水分含有率が少ない繁殖肥育牛農家の利用組合への積極的な加入促進を実施すること。

項目3 乾燥調整について

提言

- ①灯油を使用しない方式を確立するための調査・研究を進めること。
- ②熟成槽で切り返しを行い、戻し堆肥の利用率を高め、日数をかけて製品づくりをすること。
- ③醗酵菌、酵母菌の使用も検討すること。

項目4 副資材の投入について

提言

- ①畜種変更も考え、鶏ふん、米ぬか、堤防の草、食物残渣等の利用を調査・研究し、積極的に取り組むこと。

項目5 堆肥の品質について

提言

- ①専門機関で定期的分析を行い、地区毎に堆肥散布実証田を設け、効果等について検証すること。また、堆肥散布実証田については、大きい看板で表示し、PRをすること。
- ②他の施設で生産された堆肥と比較分析し、より品質の高い堆肥を生産すること。

項目6 機械の修繕について

提言

- ①プラントを熟知し、専門業者による定期的な点検を実施して、故障の早期発見に努めるとともに、計画的な修繕の実施を進めていくこと。
- ②修繕の実施に当たっては、地元・近隣の業者で対応できる体制づくりをすること。

項目7 地域資源循環型農業・有機農業の里づくりの確立

提言

- ①項目1から項目6までの運用改善をして絶えず効率性や効果的支出に留意し、製品化率の向上を目指し、なお一層の効率的な管理運営を図ること。
- ②角田産農産物の高付加価値化、ブランド化を志向し、有機農業の里づくりの目的達成のため、角田市農業の基本となる地域資源循環型農業を推進すること。

意見・要望の主なもの

議会に対して

Q 議会報告会は年に1回行っていますが、市民にとって、議員と意見を交わす機会はありません。議会報告会を年に2回に戻すなり、議員自ら地域に向く機会を増やして欲しい。

A 市民の皆様からいただいた「議会活動や市政に対する意見、要望など」をさらに深く掘り下げて調査・研究し、議会からの政策提言につなげたいと考え、一昨

年まで年2回の開催を1回とし、調査・研究に時間を費やすことで、議会報告会に参加した市民の皆様に対し、結果を示しております。なお、議会基本条例に基づいて、一般会議（※左記参照）という制度があります。地区の問題などで話し合いがしたい場合、この制度を活用できますので、議会事務局（☎63-2124）にご連絡いただきたいと思っております。

一般会議について

議会では、角田市議会基本条例に基づき、市民団体等の希望により、議会と住民がいつでも意見交換することができるとして、一般会議を設置しています。

一般会議は、議会への市民参加の機会を設けるとともに、多様な住民の意思・意見を聴取し、そこから発生する市政上の課題に対応するための政策提案の拡大

を図ることを目的としています。

活動が制限されている常任委員会や特別委員会だけでは、対処することのできない諸課題に対し、議員と市民団体等が自由に意見交換することができるとして、

一般会議は、市民団体等からの要請により開催したり、必要に応じて議会側から求める方法により開催します。

総務財政常任委員会所管

Q 『道の駅』構想とはどのようなものですか。

A 第5次長期総合計画にある「交流人口100万人都市」を目指し、総合体育館付近の約1.7haの敷地に『道の駅』を建設するものです。構想段階では、情報案内所、レストラン、産直市場、トイレ、駐車場等を整備し、完成は、平成29年度となる予定です。

Q デマンド型乗り合いタクシーをみやぎ県南中核病院まで運行して欲しいのですが…

A デマンド型乗り合いタクシーは、市内商店街の活性化と市の財政負担となっていた市民バスの代替の交通システムの構築、利用者が自宅から市内目的地まで乗降できる『ドアツードア』によるきめ細やかな対応ができる等を目的として運行が始まりました。市外へデマンド型乗り合いタクシーを運行することは、みやぎ県南中核病院に限らず、他の市外医療機関

に通院される市民もいることや民業圧迫等の問題もあります。みやぎ県南中核病院へ公共交通機関で通院している方が意外に少ないようですが、自家用車を持たない方には切実な問題でありますので、再度、議会としても市へ提言して参ります。

Q 除染計画はどうなっていますか。

A 子どもが利用する施設から除染を進めています。平成25年度は、子どもが利用する公園等の調査を行い、平均線量が0.23μSv/h以上の施設について除染を行いました。

平成26年度は、学校付近の通学路や公共施設等の調査を行い、平均線量が0.23μSv/h以上の施設の除染を行います。また、地域ごとに数件の住宅の線量測定を実施する予定です。

Q 角田市自治センター条例が撤回されたのはなぜですか。

A 今まで自治センターは社会教育事業を行うことから

教育委員会所管となりましたが、公民館業務を越え、地域づくりにしても関与することが多くなったため、自治センターの役割を明確にし、市長部局の公の施設とするため、条例案が平成25年12月定例会に提案されました。しかし「各自治センター長はじめ現場の理解が不十分であり、時間をかける必要がある。」との議会の意見が多数を占めたため、条例案が撤回されました。

Q 防犯灯の設置をお願いしているのですがどうなっていますか。

A 角田市内に全部で1,351基の防犯灯があります。平成25年度は、みやぎ環境税交付金事業を活用し、LED型防犯灯の新設30基、LEDへの交換95基を行いました。行政区長さんからの新規設置要望箇所は75箇所となっており、限られた予算の範囲内で、計画的に設置を進めていますのでご理解願います。

教育厚生常任委員会所管

Q 改修後の市民センターの駐車場のスペース確保は大丈夫ですか。

A 駐車場の確保は喫緊の課題です。現在は、第2駐車場、中央広場、旧健康センター跡地を利用しておりますが、私有地の購入も視野に入れ検討しています。

Q 市内に小児科医が少ないのですが…

A 市内に小児を診療する医療機関はありますが、小児科専門として看板を出していませんし、小児を診察する医師は少ないです。小児科専門医は近隣市町にもありませんが、紹介状が無くともみやぎ県南中核病院の小児科は受診することができますので利用してください。

Q (仮称)仙南クリーンセンターのダイオキシンの問題は大丈夫なのか。

A (仮称)仙南クリーンセンターの炉は流動床式ガス化溶融炉です。高温でゴミを焼却し、燃焼後のガスはバグフィルターという装

置を通過して排出されるため、ダイオキシン類は国の基準値の10分の1で処理できます。また、溶融炉から出たスラグは、道路やコンクリートの骨材等に有効活用されることになっております。

産業建設常任委員会所管

Q 水田に塩化カリ肥料を散布するのはどうしてですか。

A 塩化カリ肥料を散布することにより、水稲への放射性物質の吸収を抑制することができます。平成26年度は水稲・転作大豆10a当たり20kgを生産農家へ配布し、散布する予定になっております。

Q 市営中島住宅の建設予定はありますか。

A 市では平成26年度に市営住宅等長寿命化計画の改訂を行って、市営住宅等の配置計画を見直す予定となっております。その後に具体的な建設に向け動くこととなります。

平成25年度行政視察の受け入れ状況

角田市議会では、毎年多くの自治体議会議員の皆様に、行政視察でお越しいただいております。

今年度は、表4のとおり9つの自治体議会の行政視察がありました。

視察の内容は、デマンド型乗合タクシーに関するものが多く、本市は先進的であり、特色ある取り組みが認められているものです。視察の受け入れは、情報交換の場でもあり、観光振興にもつながるもので、今後も積極的に視察を受け入れ、全国に本市のまちづくりを情報発信していきます。

表4

No.	月 日	視察自治体名	視 察 内 容
1	8月 8日	千葉県茂原市議会 会派	デマンド型乗合タクシーについて
2	8月20日	京都府亀岡市議会 会派	あぶくま農学校について
3	10月 3日	佐賀県神埼市議会 会派	デマンド型乗合タクシーについて
4	10月 3日	埼玉県幸手市議会 総務・文教厚生・建設経済常任委員会	デマンド型乗合タクシーについて
5	10月 9日	宮城県白石市議会 議会改革検討委員会	議会改革の取り組みと議会基本条例について
6	11月 6日	栃木県那須烏山市議会 総務企画常任委員会	デマンド型乗合タクシーについて
7	11月13日	宮城県岩沼市議会 議会報編集特別委員会	議会のインターネット配信について
8	11月19日	京都府宮津市議会 産業建設福祉委員会	認知症高齢者等を支える地域づくりについて
9	1月21日	岩手県遠野市議会 議会運営委員会	議会改革の取り組みについて

市議会6月定例会

日程(予定)のお知らせ

- 6月 2日(月) 招集告示、会派代表者会議
 5日(木) 議員協議会、議会運営委員会
9日(月) 本会議(提案理由の説明)
 会派代表者会議
 11日(水) 議会運営委員会
 17日(火) 常任委員会(請願審査)
18日(水) 本会議(質疑・自由討議)
 会派代表者会議
 19日(木) 常任委員会(議案審査)
 20日(金) 常任委員会(議案審査)
 23日(月) 議会運営委員会
24日(火) 本会議(討論・表決・一般質問)
25日(水) 本会議(一般質問)
 議会運営委員会
26日(木) 本会議

※請願及び陳情等の提出期限は、6月2日(月)までとなります。
 ※本会議の開会時刻は、午前10時です。
 ※**太文字**はライブ配信を行います。

議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのかわかることができます。お気軽に足を運んでみませんか。
 また、インターネットを利用したパソコン、各地区自治センターのテレビ及び市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでも議会中継がご覧になれます。



※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

第371回(平成26年2月)定例会

傍聴者数 18名
 インターネットライブ中継視聴者数 159名

議 会 日 誌

1月

- 17日 宮城県市議会議長会事務局長会議
 20日 議会報告会(藤尾自治センター)
 21日 岩手県遠野市議会行政視察
 22日 議会報告会(小田自治センター)
 23日 議会報告会(野田生活センター)
 24日 議会報告会(東根自治センター)
 27日 仙南地域広域行政事務組合議会臨時会
 28日 議会報告会(桜自治センター)
 宮城県市議会議長会春

2月

- 6日 全国市議会議長会基地協議会総会
 5日 宮城県後期高齢者医療広域連合議会定例会
 1日 かくだ市議会だより175号発行
 31日 議会報告会(中島下区民会館)
 30日 全国市議会議長会事務局職員研修会(31日)
 29日 議会報告会(枝野自治センター)
 議会報告会(角田自治センター)
 季定期総会
 議会報告会(西根自治センター)
 議会報告会(北郷自治センター)
 議会報告会(角田自治センター)

- 7日 議会報告会(寺前コミュニティセンター)
 議員研修会
 10日 議会報告会(老ヶ崎集会所)
 第371回定例会招集告示
 13日 議員協議会
 17日 議会運営委員会
 19日 議会報告会(第1日)
 20日 議会運営委員会
 24日 仙南地域広域行政事務組合議会定例会
 25日 会派代表者会議
 本会議(第2日)
 予算審査特別委員会(第1日)
 角田市農業の館の管理運営

3月

- 3日 予算審査特別委員会(第3日)
 4日 会派代表者会議
 5日 予算審査特別委員会総務財政分科会・産業建設分科会
 7日 育厚生分科会
 10日 会派代表者会議
 議会運営委員会
 26日 議会協議会
 27日 議会運営委員会
 28日 本会議(第3日)
 予算審査特別委員会(第2日)
 みやぎ県南中核病院企業団議会定例会
 に関する調査特別委員会
 議員協議会

4月

- 11日 議会だより編集会議
 12日 本会議(第4日)
 13日 本会議(第5日)
 14日 本会議(第6日)
 予算審査特別委員会(第4日)
 予算審査特別委員会総務財政分科会
 議員協議会
 本会議(第4日)
 本会議(第5日)
 議会運営委員会
 議会運営委員会
 議会だより編集会議

編集後記



第371回定例会(2月定例会)は2月10日に招集され3月14日に閉会しました。2月定例会は新年度の予算を決める重要な会議であり、今回市長より提出された予算案につきましては予算審査特別委員会において慎重に審議を行いました。さらに一般質問では2日間、にわたり10人の議員が登壇し活発な政策論議を展開しました。今年度も議員一同「開かれた議会」「市民に分かりやすい議会」を目指し頑張っていますので、今後ともご指導賜りますようお願い申し上げます。

議会だより編集会議